



佐久市立望月小学校
学校だより



令和6年(2024年)

1月16日(火)

(担当：校長)

2学期終業式の校長講話から

「2学期と1年を振り返り、みんながお互いを認め合う。」というテーマで話しました。子どもたちの感想を紹介しますので、その感じ方や表現の仕方のよさを感じながら、講話の内容を想像していただければと思います

2学期終業式の校長講話

令和5年12月27日(水)

テーマ(学習問題)

2学期と1年を振り返り、みんながお互いを認め合う。

- 1 2学期始業式で話したことの振り返り
- 2 前回の校長講話JIMの振り返り
- 3 1枚の写真からJIM(ジャンプ問題)
- 4 冬休みの生活で大変にしていたこと

1 2学期始業式で話したことの振り返り
2 前回の校長講話JIMの振り返り
3 1枚の写真からJIM(ジャンプ問題)
4 冬休みの生活で大変にしていたこと



長尾花さん作

友だちの意見を聞いて、「人それぞれ頑張ったことがあるんだな」と思いました。例えば僕は算数を頑張りました。4-1の木次りゆうくんと同じで算数は苦手でした。特に割り算は苦手で間違いが多かったです。でも**班のみんなや先生などが教えてくれたので分かってきました**。最初は算数が苦手で嫌いだったけど、今では算数が大好きです！

2学期は算数が好きになったので、今苦手な国語を**好きになり得意になりました**です！



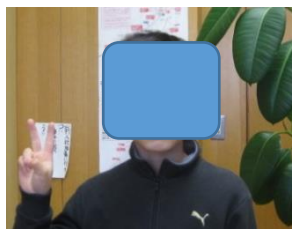
(4年：[]さん)

→ 友だちの発表を聞いて、その頑張りに共感しながら、自分が苦手な算数を「**班のみんなや先生などが教えてくれたので分かってきました**」と振り返っています。そして3学期のめあてを「・・・好きになり得意に・・・」と考えたところもいいですね。

僕は、最後に校長先生が話した「**言葉や文字は貴重な宝**」について考えました。

たしかに言葉や文字は、人間しかできないことだから、貴重な宝なんだなと思いました。

そして、**文字や言葉は、使い方によって人が傷つき死んでしまうことがあるから、そういうところも気をつけたいです。**



(4年：[]さん)

佐久の先人たち⑭

農村女性の解放に
生涯をささげた

まるおかひでこ
丸岡秀子
(1903-1990)



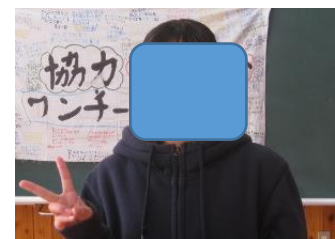
文字や言葉は、**人間だけがもつ貴重な宝**です。
外からは見えない思いや考えを、この宝である「ことば」を媒介として、自分に、他人(ひと)に確認したり伝え合ったり、高め深め合いたいものです

→ 講話の最後に早口で伝えた内容でしたが、風我さんは大切に受け止めました。日常的に相手の立場になって言葉の使い方を考えて生活しているからだと思います。

感想は2学期頑張ったことの感想の木次りゆうさんの話を聞いて、やっぱりわからなかったらずっと隠しているのではなく、「**教えて**」と聞いてみる**ことが大切だ**と思いました。

なぜかという、りゆうさんも言っていた通りで、**分からないままやり続けていたら楽しくないから**です。楽しくするためには、**自分から聞いたり教科書を見て自分からわかろうとする気持ち**が大切なんだなと感じました。

最後に私が**2学期で頑張ったことは、友達を大切にすること**です。



(5年：[]さん)

→ 「・・・楽しくするためには、**自分から聞いたり教科書を見て自分からわかろうとする**・・・」これは望月小の授業で最も大切にしていることです。杏奈さんは日々の授業でそう努力しながら友だちも大切にしているのでしょう。

みんなの感想などを見て、**それぞれ捉え方が違って「いいな」と**思った。

1~6年生のそれぞれに行事があり、五年生は**収穫を頑張ったり・・・**など、**見えてない所で努力していいな**と思った。

(6年：[]さん)



5年生 お米づくり ~稲刈



稲を刈る

→ 一人一人の感じ方の違いのよさに気づいたり、自分が知らないところで頑張っている人たちの努力に気づいたりして共感しているところがいいですね。

終業式のジャンプ問題から

終業式のジャンプ問題は、3年生が昨年に続いて「干し柿づくり」に挑戦していたことから考えました。問題について話す中で「家で干し柿をつくっている人は？」と聞くと、20人くらいが手を挙げました。今は食べ物が豊かにあるので、干し柿をつくる家は減っているかと思いましたが意外と多く、望月のよさかな？と思います。食べ物を大切にする習慣や冬の厳しい自然の中で自力で生きていくための知恵と力が引き継がれているとも感じました。



ジャンプ問題 (1)
どうして一個だけ残っているのかな？

取り忘れたのかな？
 1つだけ残した
きもり 木守り

ジャンプ問題 (2)
「木守り」にはどんな意味があるのかな？

だれのため？
 何のため？

始業式のスライドで答えを紹介します。

猿も食べられるように。
 (1年 [] さん)

**木を守ると書くから、木を守って次に柿が
 なるときにおいしい柿になるように。**
 (2年 [] さん)

木守りは、自然への、お返しだと思います。
 なぜかという、自然があるから、私たちがいる。
 だから、「いつもありがとう」という意味だと思います。
 (3年 [] さん)

柿を一つのこすと次の年になる柿の量が増えるから
 だと思う。
 理由は柿の木にお供え物の代わりに柿を一つだけ
 残すとその御礼にその次の年になる柿の量が増える
 と本で読んだことがあるから。
 (5年 [] さん)

ジャンプ問題の「木守」の意味は、来年の柿の豊作を祈り、
 心を込めて残した柿だと思います。
 僕はおばあちゃんから
 「一個だけ柿を残しておく、来年にはたくさん柿ができる」
 と聞いていたので知ってました。
 昔の人は、この柿に思いを込めて残したのだと思います。
 (5年 [] さん)

→ 人が柿を独り占めするのではなく他の生き物への思いやりと考えたり、来年もたくさんなってほしいというおまじない、自然への感謝の気持ちと考えたり、そしてそれを本を読んで知っていたり、家族から聞いて知っていたり・・・深く考える子どもたちが育っています。